

第15号

2008年3月20日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり

協議会

ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティ誌



少しすつきりしました鷺山の森整備活動 遊べる・憩える場所にしよう

昨年11月から2月にかけて、4回の鷺山の里山整備活動が実施されました。

樹々が生い茂り、藪のよう な場所も見られるようになって きた森林を鷺山小学校PTAが 中心になって、子ども達が遊 べ、大人が憩える場所にしよ うと整備を進めています。

2月17日に行った活動で は、自治会連合会、子ども会 育成会、消防団、水防団をはじ め多くの皆さんが参加しまし

た。大人も子供も頑張つて、常 緑広葉樹を伐採したり、新割 りをしたりしていました。ま た、この日は安藤教育長をは じめ、市の自然環境室、市民協 働推進室、公園整備室の方々 も一緒に汗を流されました。 この様子は、岐阜新聞、CC Nケーブルテレビにも取り上 げられました。来年度以降も 続けていきたいとおもいま す。(PTA会長 平田 亨)

校区成人式 国際会議場で

華やかに なごやかに 開催

鷺山校区「新成人を祝い励ます会」は1月13日、長良川国際会議場で自治会連合会主催で行われました。

昭和62年度生まれの109人中88人が出席して、恩師や校区各団体長、父兄等がお祝いしました。新成人からは下記のような力強い誓いが発表されました。式後、記念写真を撮り、3組に別れ恩師と懇談しました。



小学生もしっかり手伝いました

新成人の誓い

今日まで私たちの描いてきた世界は、年齢を重ねることに少しずつ幅を広げて大きくなってきました。今だから大きく見える変化でも、昨日と今日では何も変わりなく過ぎてきたように思います。しかし、だからこそ20歳となり成人を迎えた記念すべき日を区切りとし、家庭において、学校において、職場において、社会において、全てにおいて、自分の立ち位置を自覚・認識していくことが大切なのだと思えます。

今後の人生において、捨てる事と守る事、どちらが先なのか悩む場面も多々訪れることでしょう。そんな中、タナマエといつコミ箱に自分をつぶされてしまつては、可能性に



- 3月25日(火) 19時〜 自治会連合会 関連行事
- 3月25日(火) 19時〜 新自治会長会 公民館
- 3月30日(日) 11時〜 校区 花見の会 北野神社
- 4月5日(土) 道三まつり協賛 神輿ハレード 北野神社・若宮神社・若水町

あふれた未来もその輝きを失つてしまふ気がします。転ぶ覚悟を持って生きてゆくことで、自分らしさを大切に出来るような存在になれるよう、頑張りたいと思います。

そして、今日まで私達へ道標を示してくれた家族、友達、その他多くの人々への感謝を忘れることなく、新たな気持ちで歩みだす人生を一步一步踏みしげながら、歩んでいくことを最大の恩返しとしていけるようにしたいと思います。

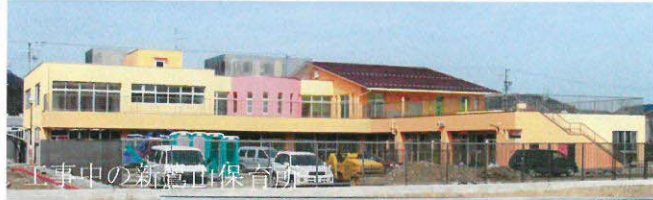
最後になりましたが、これまで私たちが温かく見守り支えてくださいました地域の皆様や家族に心から感謝し、今まで以上にご指導くださいますようお願い申し上げます。

新成人代表 高田 康平

拠点保育所として

鷺山保育所が新築移転

下土居に 4月4日オープン



岐阜市立鷺山保育所

鷺山保育所が新築移転し、4月4日オープンします。場所は下土居、鷺山小学校と青山中学校の中間に位置します。

新保育所は、鷺山保育所と岩倉保育所を統合して定員180人の多様な保育機能をもつ拠点保育所として整備されたものです。



新保育所では、保育サービスだけでなく地域全体への子育て支援など様々な要望を受け、多様な特別保育事業や子育て支援事業が行われます。



- ① 3歳未満児保育の充実
 - ② 生後57日からの乳児保育
 - ③ 軽度発達障害児などの障害児保育の拡充
 - ④ 延長保育の実施
 - ⑤ 一時保育事業の受入
 - ⑥ 児童数の拡大
 - ⑦ 子育て相談や子育てセミナー等を実施する地域子育て支援事業です。特に保育所としてはじめての「ことばの教室」が開設されます。
- 建物は鉄筋コンクリート2階建て、年齢別の保育室

鷺山保育所が新しく生まれ変わります

平成20年度鷺山保育所が新しく生まれ変わります。北部拠点保育所として開所時間が7時から20時までの延長保育所となります。通常の保育事業のほか、地域子育て拠点事業（センター型）として子育て相談、親子教室、講師を招い

ての子育てセミナーなど地域の子育て支援も行っていきます。

また、保育所として初めて「ことばの教室」が開設されます。

核家族化が進み、育児に悩みや不安、負担を感じる方が増えてきています。

鷺山保育所長 高木京子

拠点保育所としまして、新しい事業に積極的に取り組み、保育所や地域の方々「子育ては楽しい」と感じていただけるよう努力していきたいと考えております。4月4日のオープンを子どもたちと心待ちにしています。

の他に一時保育事業や特定保育事業のための保育室や地域子育て支援相談室などが設けられます。

新保育所の建設に当たっては、鷺山保育所が昭和41年に建設以来老朽化し、大規模保育所でありながらプール等設備内容が狭隘であり、整備のため移築が求められておりました。(N・I)

平成10年新保育所建設の要望をした杉本さんの話

陳情署名簿を当時の市長さんに提出させて頂いた頃保育所にお世話になっていた娘は今、青山中学一年生、時のたつのは早いものです。

保育所へ子供を預けるために、消防車や救急車も入って行けない狭い道を通り保育所へ、毎朝車の長い列ができて、先頭車両が前に進まない限りぬけることが出来ない道です。

鷺山保育所は古い木造の建物ため、床が軋み、鉄の部品は錆び、木製のドアは角が磨り減って先生方が修繕される姿を何度も見かけました。



このたび北部拠点保育所として、大きく素敵な新しい施設・交通の便も良く、鷺山がほど近くお散歩コースも豊富・こんな日当たりも良い場所です子供達がすくすく育っていくのかと思うととてもうれしく思います。



オープン間近かの新保育所全体図

地域のみみんなで子どもを見守る

みんなでつくる安心・安全・汗(カ)あふれるまち さぎやま

変りつつある鷺山

ここ数年、鷺山校区内では5カ所の土地区画整理事業が進み、ずいぶん景色も変わってきました。田畑であった所に、何本も道路ができ、しゃれた家やお店、保育所が出来つつあります。

J A 岐阜の大型農産物直売所 おんさい広場 5月初旬環状線北にオープン



鷺山小学校から北へ環状線を越えた所に、農産物の直売所「おんさい広場」が5月初旬にオープンします。
「おんさい広場」は、JAが設立した初の大型農産物直売所で、総面積9,730㎡、建物面積923㎡、駐車台数170台を完備しています。
店内には、岐阜市内を中心に地場で取れた新鮮野菜を豊富に取り揃える予定です。野菜には、農家の方が自分の名

前を付け、毎朝出荷します。売れ残り商品は、夕方引き取るシステムとなっているので、毎日新鮮な物が並びます。

他にも、店舗内に併設している工房では毎日、ぎふの銘柄米「はつしも」で作る米粉パン、岐阜市産大豆で作る豆腐を製造直売し、生産者と消費者との産直交流施設として期待されています。

消費者の「食の安全・安心」に関心が集まる昨今、生産者の顔が見える安全・安心な農産物を販売する「おんさい広場」に対する期待が高まっています。

さらにオープン後は、隣接する農地を利用して、親子での農作業体験や食育活動など地域に根ざした活動の拠点として行く予定とのことです。



北郵便局から則武へ 幹線道路ができます

北郵便局から西へ北高への狭い道路がありますが、まもなく北郵便局から広い幹線道路が「則武中1東」交差点(元たるま古道具屋前)へつながります。同時に、郵便局からメモリアルの交



清流園前交差点

差点まで向井町付近が拡張され歩道が出来ます。泉岐商北側の道路は福祉道路になり、清流園の前で新道に信号機で交差します。

マーサ21改装 正木交差点 イメージ一新か

マーサ21は現在改装中で、4月下旬リニューアルオープンのお楽しみです。現在地に出来て20年、正木のランドマークも、交差点もイメージ一新。



イメージ一新か 正木交差点

どうする? 旧保育所 地域の福祉・交流館に

鷺山保育所はこの3月で移転し、建物は取り壊されることになっていました。

「人が集える場所」としては、鷺山公民館しかない校区にとつてはもったいないということ、社協鷺山支部が中心になって、去る11月末、市の保育事業室に「再生利用計画要望書」提出しました。

計画として、留守家庭児童保育・子育てサロンの場、老人クラブの憩いの場、子ども会、青少年育成市民会議の遊び場・会議室、赤十字奉仕団・身障者・母子寡婦等の福祉拠点としてまちづくりの交流館の創設計画を提案しました。



どうする旧鷺山保育所

西側の比較的新しい部分のみを残し、後は取り壊し、跡地を売却、提案の一部だけを利用するとの回答でした。

現在も使われている他の保育所より若干新しい鷺山の平屋の建物がほとんどに危険なのか、設備も整っている処を壊すのは、誠にもったいない。

跡地は売却するというが、地元の不動産屋さん聞いたところ、周辺道路が狭く、千平米以上は開発になり、買手はいないだ(と)言(う)た。

校区の中心地にあり、至便で、集会所に最適なお所だけに、数年でも再生利用の借出が出来ないかと願っています。校区民の皆さんのお力を結集してぜひ実現したいと思(い)います。

ヒヤリハッと バリアフリー事業

道路補修はかなり出来たが・・・ ひきつづき改善を要望

昨年4月から取り組んできましたこの事業も補助事業の締めくくりとして「校区防災・くらしの安心マップ」を今作っております。3月下旬には、皆さんに配布する予定です。

この事業は単年度に終わらせず、引き続き何らかの形で改善事業を続けていけたらと願っています。

道路の補修は出来、歩きやすくなったと思いますが、予算を伴う道路改修は20年度になる予定です。小学校南からの通学路のカラー舗装を要望してききましたが、路面補修に終わっています。

交通関係ではミラーの取り付けは各所で出来ました。本通りの歩道橋付近の問題、横断歩道の移設も規制等の関係で難航して実現していません。

地元の野々田万照さん 市芸術文化奨励賞



鷺山夏まつりに昨年も出演いただいたサククス奏者の野々田万照さん(若水町)が平成19年度岐阜市芸術文化奨励賞を受賞されました。

14年間東京で活動されましたが、近年ふるさとの学校などで演奏会を開き、子供達への文化普及活動に取り組んでおられます。おめでとうございます。



緊急情報放送徹底へ 防災行政無線を増設

従来校区内には、鷺山小学校庭、正木公民館裏、池田公園に防災行政無線子局(スピーカー)が設置されていますが、聞こえない地域が広くあり、新しく4カ所に増設されます。

設置され、放送伝達が徹底されるのが望まれます。災害時の「防災情報」のほか、「食中毒警報」「光化学スモッグ警報」「選挙公報」家庭の日などが放送されます。その他、毎日午後5時には機能テストのため「ウエストミンスターの鐘」の音が流されます。

鷺山遺跡発掘現場公開 正明寺城之前遺跡で



鷺山での発掘調査も今年度で9年目となり、去る1月19日(土)に小学校の北東の正明寺城之前遺跡で現地説明会がありました。

その2・3日前の新聞紙上に、鷺山で「戦国時代の火葬場の痕跡を確認」との記事が載り、興味のある方々が大勢来場しました。火葬場の実際の痕跡は鷺山市市場遺跡(小学校の元プール(東))で、すでに埋められているとのこと、これには少々ガッカリした人が多く、「何でその時に見せてもらえなかったんだらう」との声もありました(同感)。

今回の公開現場は竪穴住居跡や溝の跡がよく分かり(古墳時代)、他に、壺、カメ、お皿(裏に文字が墨で書かれていた)などの出土品が展示されています。きれいに洗われており、皆感心して見ていました。

来年も発掘調査は続くでしょうなので、期待しましょう。

防災倉庫を新設

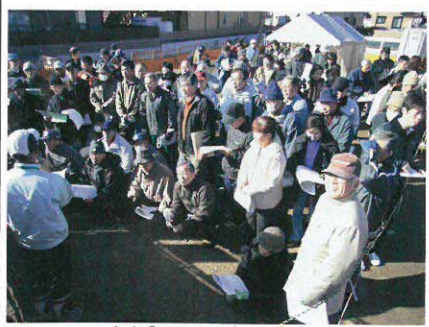
北部コミセン内の防災備品を各校区に配備されることになりました。
3・8mの長さの救命ボート2艘、救命胴衣10着、防雨シート1枚、発電機1機、給水用水槽2、ハンドマイク5機を収納する防災倉庫が必要になり、校区民の方の好意で、正木の消防分団西100mにお借りすることが出来ました。
3月下旬に配備予定です。



防災倉庫 3/下旬予定 (正木1512-5)



いずれにしても、鷺山は狭い道路が多く、見づらい所が多いので、自動車、自転車の方は一時停止など規則を守って、歩行者優先で運転願います。



100人近い人が見学した正明寺城之前遺跡で

う。何が出来るか、ワクワク!(SA)

鷺山校区「昔むかし」

③

古代の鷺山

鷺山遺跡発掘調査報告によりますと、鷺山北部の環状線と鷺山小学校の前を走る県道78号線の間あたりの遺物の出土状況は、縄文時代から室町時代までの遺跡遺物が重なり混じりあっていることが分かりました。このあたりは因幡川(長良川)の氾濫で度々河道が大きく変わるため、百年ほどの単位で、人々は自然堤防上を移動して集落を作っていたようです。

鷺山蟬遺跡・正明寺城之前遺跡では、古代(大和時代〜平安時代)の遺跡の一部や遺物が出土しています。



巡方(じゅんぼう) 下級武士が着けたベルトの金具

たとえば平安時代の下級役人がその身分を示すベルトに貼り付けた金具(巡方)や、焼塩の生産に使用したと思われる土器が廃棄された跡や、「方」「群」と判読できる墨書須恵器も数多く出土しています。



焼塩土器出土状況 正明寺城之前遺跡で

生活の証全体をみつけることは難しいのですが、七世紀後半から八世紀のはじめにかけて、岐阜は、「三野」から「御野」を経て「美濃」と国名を変えています。

そして六四五年・大化改新の詔によれば、美濃は大和朝廷の東国進出への兵力の徴集、物資の輸送などを

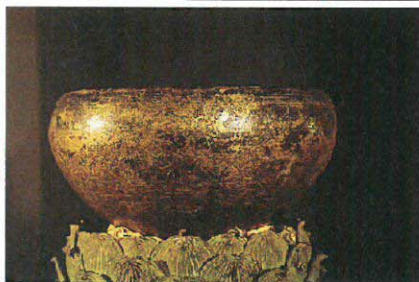
分担する基地的な役割を担っていたようです。

「大宝二年戸籍(七〇二年)」で見ると、鷺山は肩福郡肩々里(城田寺)長良福光の中央に当たります。都から伸びてきて西の本簗郡(本巣市)から東へ鶴飼大橋のあたりを越えて日野から各牟郡(各務原市)中里に向けて東山道が通っていました。今も「仙道」「仙古」という地名が残されています。そして、今の長良と志多見のあたりには役所がかかれていたようです。



長良高校裏手から東にかけては七世紀末の古代瓦が大量に堆積していた長良廃寺跡がありました。六七二年に天皇家の勢力争い(壬申の乱)

があり、美濃の各郡の支配者は後の天武天皇側につき、論功として地域の指導者は位階や租税一部免除・寺院の建立を認められています。



また奈良時代、大仏建立(奈良の大仏)に際し造立に関わった仏師が「金銅獅子唐草文鉢(国宝)」(写真)を受けていて、当時創建の護国之寺(雄総)に納められています。

これらを考えますと古代の鷺山は、下級役人が肩々里の農民を統率して徴税や東山道を補修管理する集落が一定の間隔で点在していたと推定されます。

(水野 一)

資料提供 岐阜市 埋蔵文化財調査事務所

発掘調査で

わかったこと

1月26日(土)10時から、鷺山公民館で公民館講座「鷺山の歴史シリーズ」12回が開かれました。

岐阜市の埋蔵文化財調査事務所の朝田講師から、9年目になる発掘調査で分かった鷺山遺跡群の歴史を2時間にわたってお聞きしました。

鷺山で発掘された「将棋の駒」や「巡方」など珍しい遺物も展示され、会場いっぱい盛況でした。



公民館歴史講座風景

鷺山の福祉

第27号
発行
社福協鷺山支部
☎231-0040

第二回 ふれあいいいきいきサロン 五地区で開催 三八八名参加

鷺山地区(2月17日開催)
約76名参加



野寺さんの軽妙な話で輪ゴムストレッチ

前日は雪が降り、心配でしたが、80人の方にお集まりいただきました。
北野さんの浪曲のすばらしい声にアンコール続出。「悪徳商法」や「口腔機能改

善」の講話を聞き、参考になりました。社協の野寺さんからは、輪ゴムを使った指体操で手の血行や足のストレッチを学びました。その後、スカットボールや輪投げゲームで楽しんで頂きました。(粥川守男)

19年度「ふれあいいいきいきサロン」 2回の地区別参加者総数

鷺山地区	153人
正木地区	226人
清洲地区	117人
古川地区	154人
緑ヶ丘地区	113人
計	763人

でした。

緑ヶ丘地区(2月21日開催)
約57名参加

担当者として今回どんな活動をしたらいいか前から考えていましたが、サロン活動支援者研修会で「指先から健康促進」を教えて頂いた内容と、偶然、テレビで見た指体操をインターネット



丹羽さんの指先体操

で検索して調べまわると、不慣れながらもみなさんにやってもらいました。会場に、多少の動けるスペースや座る場所に余裕があれば、身体を動かしたり、新聞紙を使ったゲームなど、活動内容の範囲も広がると思えました。

(丹羽京子)



若水町公民館でのサロン
清洲地区(2月20日開催)
約59名参加

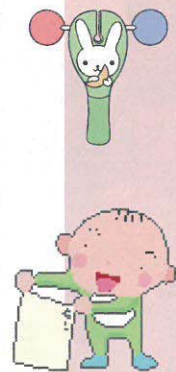
骨密度を維持するには、食事や運動に気をつけようと、鈴木保健師の話聞き、社協の野寺さんから軽い体操を教わりました。



足で骨密度を測りました

子育て支援ひろば

クリスマス会



昨年12月4日(火)午前10時から鷺山小学校体育館をお借りして「子育て支援ひろばクリスマス会」が開かれました。

校区の0〜3歳児親子76組が参加して3B体操や軽いお食事を楽しみました。サンタさんからプレゼントもあり子ども達は大はしゃぎ。校区の社協、民生児童委員、青少年育成市民会議の皆さんがお手伝いしました。



大勢の子供達が楽しみました

古川地区(2月22日開催)
約81名参加
戦時中のすいとんを

第一部は、市社協コー
ディネーター野寺さんによ
る「健康と色」のお話を聞



藤沢さんの音楽療法

きました。

次いで音楽療法士藤沢玲
子先生と懐メロを皆さんで
合唱、楽しいトークと座つ
たままで出来る軽い体操の
指導を受け、場が大いに盛
り上がりました。第二部は
日赤奉仕団と民生委員の皆
さん手作りの「花見弁当と
昔懐かしい暖かいすいとん
汁」を全員で賞味いただ
きました。(松前廣重)

正木地区(2月24日開催)
約115名参加

昔の「ごっつお」を食べました

早朝は雪でしたが、日も
照ってきて出足よく百人を
超える参加を得ました。

まず、野村老人会長の「さ
んぼ道」と題して、哲学から
算数など幅広いお話を面白
く聞きました。ついで、社
協の野寺さんから包装用
ラップの芯を利用したのツ
ボ押しや体操を学びまし
た。保健師の鈴木さん、包括
支援センターの酒井さんの健
康の話がありました。



ラップの芯を利用した体操

昼食は、民生委員や食改
委員の手作り、正木の昔懐
かしい「かきまわしご飯」を
頂きました。



昔はお祭りの時に食べた
ごっつお(ご馳走)の
「かきまわしご飯」(左)

午後は、三味線のじょん
から節を聞き、ビンゴゲ
ムで豪華賞品をもらいま
した。
今回は、先般地元正木で
の交通死亡事故にかんが
み、交通安全協会の要請も
あり、北警察署から映画と
お話の特別講習がありま
した。(高橋健二)



交通安全の特別講習

3年で8回を迎えた「男の料理」
「脂質を減らして肥満防止」をテーマに
基本がわからず悪戦苦闘

社会福祉協議会鷺山支部
の食生活改善推進協議会は
満3年になり、「男の料理教
室」も今回は19年度3回目、
通算8回目になりました。



話を聞き、「鶏ささみの酢豚
風」等の4品に取り組みまし
た。
乱切り、みじん切り、千
切り、削ぎ切り、さく切
りと切り方がいろいろあって
悪戦苦闘。

野菜中心のヘルシー料理
でしたが、出来上がってみ
るとポリウムもあってみ
な満足そう。

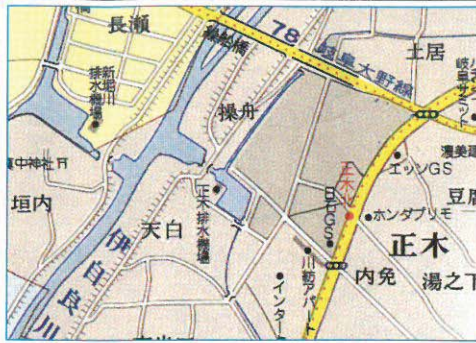
今度はイタリア料理、中
華料理、純和食と希望があ
りましたが、調理の基本の
ABCを
ゆつくり勉
強したいと
いう意見も
ありまし
た。(河合輝
久)

2月26日、当日は雪が降
り寒い日でしたが、鷺山小
調理室は昔の若い男性30
人、食改の受講生6人、食
改の女性スタッフ6人の大
世帯で熱気で咽かえってい
ました。
今回は「脂質を減らして
肥満防止」テーマに、保健セ
ンターの森崎栄養士さんの



仕上げは隆々?





操舟町(灰色部)と小字 操舟、天白

操舟町は鷺山校区の西端、伊自良川東の自治会。昔は伊自良川(巨川とも)には橋がなく、舟を操って渡ったんで、操舟の字名になったようです。しかし現在架かっている県道の橋名は「繰舟橋」、バス停も同様。パソコンの変換も、



こんにちは
自治会を訪ねて

正木 操舟町 自治会



鷺山山頂にお城が？
丁度金華山の岐阜城と重なるんです。

「くりふね」は「繰舟」になります。「舟」が「船」の地図もあり、歴史を踏まえ正しい字を残したいものです。さて、鷺山の作家森田草平の小説「輪廻(りんね)」に伊自良川の堤の上から眺めた一説があります。「稲葉の山はこゝから見ても矢張り美しい金字形をして、(中略)その西の方半里許りの所に平野に取り捲かれながら、牛の臥たやうに横たはつてある丘陵がある。(中略)村の西手にある禿山なのだ。」金華山と草平の郷里の鷺山とが一望のうちに描かれています。今、堤防からは見ると高い建物で多少陰になつてしまします。蛇足ながら、環状線と黒野からの県道の交差点(正木土居)の付近から鷺山を眺めると頂上にお城が見えますよ。？



長良糸貫線 計画図
西正木を跨ぐ橋の計画が...

さて本題、この操舟町は戦後、畑の中に家がぼちぼち建つていったようです。自治会は昭和48年発足。51・9・12水害の時は大変でしたが、その後、正木川排水機場が出来、安心して住める町内になりました。現在、自治会は5班43世帯ですが、住宅が建ち、子供が増え続けています。年に1回町内旅行を十数年前から続けています。毎月第3日曜には町内のゴミ拾いに皆さん参加、まとまった町内とのこと。正木西の区画整理が進み、道路が整備され、下水道も完備されました。環状線沿いにいろいろなお店が増えてきています。また、マーサから西へ長良糸貫線の延長、架橋の計画もあるようで、ゆくゆくは校区の西の街になりそうです。(取材協力 上原さん)



正木排水機場(奥が伊自良川)

編集後記

校区の西から北へぐるっと区画整理が進み、校区内もずいぶんと景色が変わってきました。道路も東西方向はともかく、南北道がどうもスムーズではありませぬ。区画整理ができない地区は細い道ばかりで、南北道がなく、狭い道で車に追いかけてられています。南の則武で広い道が出来て、岐商、日赤へ道が開けます。鷺山小学校からと青山中学から、南へ則武へ通じる幹線道路ができたなら、便利で、安心・安全なまちになるのに・・・政治力に期待。(T.T)

鷺山の水の守り番
「正木川排水機場」
は、水位が高い伊自良川から正木川への逆水を防ぎ、さらにその際にの上流からの雨水を排水するために、水門・樋門と排水機場が昭和56年第1期整備されました。向かいに新堀川排水機場もあります。

鷺山字名あざなめぐり
操舟・天白(上図参照)

江戸時代は、江戸・京都などの大都市以外、軍事上の規制から、大中河川には橋が架けられなかった。そのため、渡河には主に渡船が使用された。操舟の地名は、渡船があつた場所と考えられる。



また、天白は、古来からの地名で、「天下の土地」という意味がある。白は畠と同字義であり、往古、洪水で荒れたこの地域の土地を先人たちは開墾した。彼等は、当時、高度の土木技術を所有していた渡来人系と想像できる。彼等が開いた土地は朝廷から下賜されたので、「天下の土地」を後世に伝えるため、「天白」という地名を名付けたのであろう。江戸時代の幕府領を「天領」と称したのと同じ意味合いがある。二つの地名とも川にかゝわりがあり、鷺山の多くの地名は川との関係を抜きには考えられない。

(加納 宏幸)